

研修のお申込み

Jam

お問い合わせ・お申込みは……

特定非営利活動法人

メンタルケア協議会

Japanese Association of Mental Health Services

東京都渋谷区代々木 2-5-4 榊原記念ビルディング801

TEL : 03 (5333) 6446      FAX : 03 (5333) 6445

HOME

http://npo-jam.org/

MAIL

touban@npo-jam.org

募集要項など採用情報詳細はこちらから……

採用特設サイト: <https://npo-jam.jp/saiyou/>

定員30名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せてFAXまたはメール添付で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものををご用意いたしましたので、下記URLよりダウンロードしてください。

<https://npo-jam.jp/saiyou/jobs/entry.html>

応募締切 2026年 1月 20日(火) 必着

- ※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を1月23日までにメール(またはFAX)にてお送りいたします。
- ※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。
- ※ FAXまたはメール添付にて履歴書を送られた方は面接時に原本を持参してください。

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ  
お名前

年齢

歳

性別

男 ・ 女

ご住所

電話番号

FAX番号

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを ※携帯アドレスは不可。)

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール(および添付ファイル)でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2026 年度の相談業務に従事することが可能ですか？ はい ・ いいえ

「はい」の場合

「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。  
※土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。  
※勤務時間帯は[午前勤]11:30～14:00、[A]13:30～18:30、[B]17:00～22:30、[C]22:00～翌 6:00です。

履歴書中に  
保有資格・実務経験  
を忘れずにご記入  
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。  
人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただき受講票に記載してお知らせいたします。

	研修内容	実施日／場所	※VC:ビジョンセンター	時	必修	参加	単位
講義	①周産期・就学前・学童期の支援とおとなの発達障害支援	1/24(土)	VC新宿マインズタワー1205	12:00～16:40	必修	可・不可	1
		※ 開講式					
	②子どもの発達・愛着の問題	1/25(日)	全理連ビル9階ABC室	12:00～16:40	必修	可・不可	1
グループ ロール プレイ	③周産期の自殺と小児科医による子育て支援	2/1(日)	VC新宿マインズタワー1205	12:00～16:40	必修	可・不可	1
	① 相談を受けとめる	2/7(土)・2/15(日) 3/20(祝・金)	全理連ビル9階ABC室	12:00～17:45	必修	可・不可	1
	② 自殺リスクアセスメントと自殺に関連する相談	2/23(祝・月) 全理連ビル9階ABC室 3/14(土) VC新宿マインズタワー1205		12:00～17:45	必修	可・不可	1
	③ 他機関へ繋ぐ	3/15(日) VC新宿マインズタワー1205 3/21(土) 全理連ビル9階ABC室		12:00～17:45	必修	可・不可	1
現場 研修	④ SNSと電話へ繋ぐ	3/28(土) VC新宿マインズタワー1202 ※ 閉講式		12:00～18:00	必修	可・不可	1
	① 東京夜間こころの電話相談	2/9(月)・2/11(祝・水)・2/14(土) 2/21(土)・2/25(水)・2/26(木)	相談室	18:00～21:00	必修	可・不可	1
	② 東京都精神科救急医療情報センター	3/9(月)・3/10(火)・3/23(月) 3/25(水)・3/27(金)	相談室	18:00～21:00	選択	希望する	1
	③ SNS相談 ※参加可能人数に限りがあります。予めご了承ください。	3/30(月)	相談室	14:00～17:00	選択	希望する	1
	④ 依存症回復施設RDデイケアセンター	2/3(火)・2/17(火)・2/24(火)	RDデイケアセンター	13:00～15:00	選択	希望する	1
	⑤ 訪問看護ステーション卵	2/10(火)・2/13(金) 2/20(金)・3/13(金)	ステーション訪問対象者宅	9:00～15:00	選択	希望する	1
	⑥ 東京ダルク／八王子ダルク	2/4(水)・2/18(水)・3/11(水) 2/27(金)・3/6(金)	東京ダルク 八王子ダルク	13:00～16:00 13:30～16:30	選択	希望する	1

研修日程

研修内容	研修テーマ	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師
Ⅰ. 基礎知識 習得のための 講義	①周産期・就学前・学童期の 支援とおとなの発達障害支援	1/24 (土)  ビジョンセンター 新宿マインズタワー1205 12:00 - 16:40	12:00 - 12:05	開講式	西村 由紀
			12:05 - 13:20	講義 1「母子保健におけるメンタル支援」	竹森 早苗 高田 恵理
			13:30 - 13:40	質疑応答	
			13:40 - 14:55	講義 2「教育機関における支援と子どもの自殺防止」	柴田 恵津子
			15:05 - 15:15	質疑応答	
			15:15 - 16:20	講義 2「相談員の幅を広げるための発達特性理解」	桑野 大輔
			16:30 - 16:40	質疑応答	
	②子どもの発達・愛着の問題	1/25 (日)  全理連ビル9階ABC 12:00 - 16:40	12:05 - 13:55	講義 1「子どもと家族のところに寄り添うために -愛着・発達障害・認知行動療法の視点」	佐々木 剛
			14:10 - 14:20	質疑応答	
			14:25 - 16:15	講義 2「発達障害等を抱えている人の生きづらさ」	大下 隆司
			16:30 - 16:40	質疑応答	
	③周産期の自殺と小児科医 による子育て支援	2/1 (日)  ビジョンセンター 新宿マインズタワー1205 12:00 - 16:40	12:05 - 13:55	講義 1「子育て支援 小児科医の視点で」	松本 歩美
			14:10 - 14:20	質疑応答	
			14:25 - 16:15	講義 2「周産期の自殺について～日本の現状と事例紹介～」	相良 洋子
16:30 - 16:40			質疑応答		
Ⅱ.  グループ ロール プレイ	① 相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)	2/7 (土)・2/15 (日) 3/20 (祝・金)	12:00 - 17:45	全理連ビル9 階 A B C 室  ※3回のうち一日に参加	上野 由美子 西村 由紀
	②自殺リスクアセスメントと 自殺に関連する相談 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/23 (祝・月) 3/14 (土)	12:00 - 17:45	全理連ビル9 階 A B C 室 ビジョンセンター新宿マインズタワー1205	※どちらか 一日に参加 西村 由紀 大神 那智子 特任相談員
	③ 他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	3/15 (日) 3/21 (土)	12:00 - 17:45	ビジョンセンター新宿マインズタワー1205 全理連ビル9 階 A B C 室	※どちらか 一日に参加 荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀
	④ SNSと電話へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	3/28 (土)	12:00 - 17:45 17:45 - 18:00	ビジョンセンター新宿マインズタワー1202 閉講式	西村 由紀 西森 優実子 特任相談員 西村 由紀
	相談現場の見学	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師
Ⅲ.  現場研修	①東京夜間こころの電話相談	2/9(月)・2/11(祝・水)・2/14(土) 2/21(土)・2/25(水)・2/26(木) <small>相談室</small>	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本 (レクチャービデオ) 相談の陪席	荒井 澄子 國吉 淨子
			18:00 - 21:00	精神科救急対応の基本 (レクチャービデオ) センター業務の説明、相談の陪席	西村 由紀 山城 久典 塚本 哲司
			14:00 - 17:00	SNS相談の基本 SNS相談の現場見学	※26年度SNS相談勤務予定者には別途研修あり。 ※どうしても現場見学をされたい方のみ申込可能です。 西森 優実子 SNSV
	④依存症回復施設 RDデイケアセンター ※1	2/3(火)・2/17(火)・2/24(火) <small>RDデイケアセンター</small>	13:00 - 15:00	依存症回復施設の現場 ミーティング見学	※1回の参加者は4名 鳥居 健二 他
			9:00 - 15:00	訪問看護の実態について 訪問の同行 (いずれか1日に参加)	※1回の参加者は3名 寺田 悦子 他
			13:00 - 16:00 13:30 - 16:30	ダルクの活動について 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加)	※1回の参加者は3名 森田 邦雅 加藤 隆 他
			※次年度採用予定の方のみ。	西村 由紀	
⑦自殺相談ダイヤル	3月下旬 (全4回) <small>相談室</small>				

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 令和7年度 (2026.1～3月)

講師・団体紹介 (50音順)

荒井 澄子(あらい・すみこ)  
メンタルケア協議会理事／元南多摩保健所／東京都に39 年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3 つの保健所) など。

上野 由美子(うえの・ゆみこ)  
埼玉いのちの電話研修担当／埼玉いのちの電話に 25 年以上携わり、16 年前から埼玉いのちの電話の研修・相談員ケアに従事。自死遺族の会にも携わる。外資系企業にて人材開発および研修業務に従事。

大下 隆司(おおしも・たかし)  
メンタルケア協議会副理事長／代々木の森診療所院長／神戸国際大学保健センター特命教授／東京女子医科大学児童思春期外来非常勤講師／医学博士／神戸大学医学部卒業。社会人経験後、医学部に入りなおし、精神科医となる。神戸大学医学部付属病院、都立墨東病院、明石土山病院、兵庫県中央児童相談所、東京女子医科大学病院に勤務。H24 年 4 月より代々木の森診療所院長。

加藤 隆(かとう・たかし)  
特定非営利活動法人八王子ダルク代表理事(施設長)／国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部・科研費研究員／東京都立多摩総合精神保健福祉センター非常勤相談員／NPO 法人アパリ理事／薬物依存症当事者／ 15 歳から違法薬物を使い始め 2 度の逮捕を経験し 1997 年から 2 年間ダルクでの回復プログラムを受け終了し、2007 年 NPO 法人東京ダルクに入職。2011 年より東京ダルク八王子施設長を経て、2015 年より現職。

國吉 淨子(くによし・きよこ)  
メンタルケア協議会理事／元都立中部総合精神保健福祉センター／S52 ～東京都勤務。松沢病院、多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

桑野 大輔(くわの・だいすけ)  
精神保健福祉士／公認心理師／第一種衛生管理者／東京都発達障害者支援センター おとな TOSCA 副センター長／労働衛生機関、一般病院を経て、公益財団法人神経研究所附属晴和病院に勤務。発達障害専門プログラム、ASD 男性向けピアサポートなど成人の発達障害の支援等に従事。平成 30 年～令和元年度「成人期発達障害者生活支援モデル事業」マネージャー。令和 2 年度～現在「発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業」発達障害医療コーディネーター。令和 5 年度～現在

佐々木 剛(ささき・つよし)  
千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部・精神神経科(兼任) 准教授・部長代理／精神神経学会専門医・指導医(児童精神科医療研修委員)／精神保健指定医、日本児童青年精神医学認定医(代議員)／子どものこころ専門医・指導医／ 2002 年 3 月秋田大学医学部卒業、2008 年 4 月千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部勤務、2023 年 4 月より千葉大学精神医学教室医局長、2024 年 4 月～現職。

相良 洋子(さがら・ようこ)  
日本産婦人科医会常務理事／昭和医科大学客員教授／産婦人科医／東京大学医学部医学科卒業。長野赤十字病院産婦人科、東京厚生年金病院産婦人科、帝京大学医学部精神神経科学教室、東京都教職員互助会三楽病院婦人科などを経て、2000 年にさがらレディースクリニックを開院(2024 年 3 月閉院)。現在は東都クリニック婦人科非常勤医師など。日本産科婦人科学会専門医、日本女性医学会認定女性ヘルスケア専門医、日本女性心身医学会認定医・理事、日本周産期メンタルヘルス学会顧問。2016 年より、日本産婦人科医会常務理事(母子保健担当)。妊娠・出産・月経・更年期など、女性特有の身体的課題に加え、不安や抑うつ等の心理的側面を含めた包括的な視点からの医療を実践。特に、周産期をはじめとする女性のメンタ

ルヘルスや心身症に関する知見を有し、医療・心理・福祉等の多職種連携の重要性について、臨床および啓発活動を通じて発信しています。

柴田 恵津子(しばた・えつこ)  
東京都シニア・スクールカウンセラー／公認心理師／臨床心理士／高山赤十字病院心療内科勤務の後、平成 10 年より江東区教育センター、東京都スクールカウンセラーを経て現職。

鳥居 健二(とりい・けんじ)  
特定非営利活動法人ジャパンマック障害福祉サービス自立訓練(生活訓練) 事業所 RD デイケアセンター施設長／生活支援員／依存症回復施設 RD デイケアセンター はジャパンマックが運営する自立訓練(生活訓練) 事業所のひとつで、依存症からの回復支援に特化したリカバリープログラムを実施している施設です。利用者 生活スキル向上や社会参加への支援などに取り組んでいる。

高田 恵理(たかだ・えり)  
幡ヶ谷保健相談所 保健指導主査

竹森 早苗(たけもり・さなえ)  
渋谷区保健所 地域保健課保健指導主査

寺田 悦子(てらだ・えつこ)  
株式会社円(えん) グループ代表／当法人は、多摩地域及び新宿に訪問看護ステーション(8 事業所)・居宅介護サービス事業・地域活動支援センター・相談支援事業所・PCG・オープンカフェなど介護や福祉の事業を「医療」と「福祉」を地域につなげる事をコンセプトに活動している。また、在宅での支援を必要とする高齢者から児童まで、「その人らしい豊かで多様な生活ができるように応援する」を理念に掲げ、多摩地域を中心に関係機関との連携を重要に考えている。更に訪問看護では、「家族支援」に力を入れている。

西村 由紀(にしむら・ゆき)  
メンタルケア協議会副理事長／メンタルケア協議会事務局長／メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤルの立ち上げに携わる。

羽藤 邦利(はとう・くにとし)  
メンタルケア協議会理事長／ S42 京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58 代々木の森診療所開設。H2 年 1 月より代々木の森診療所院長。H24 年 4 月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

松本 歩美(まつもと・あゆみ)  
日本産婦人科医会 常務理事、昭和医科大学 客員教授／産婦人科医／ 2007 年より千葉県船橋市内の小児科クリニックにて診療に携わる一方、病児保育を運営し、子育て支援にも注力した。その後、医療と福祉を融合させた支援を目指し、児童発達支援、産後ケア、児童家庭支援センターなどの取り組みを行っている。専門分野は小児医療全般であり、発達支援と家族支援を重視した医療提供を行っている。また、働く女性や子育て世代のニーズに応えるための支援活動にも積極的に取り組み、医療と福祉の連携、子育て世代を支える仕組みづくりをテーマに、講演や情報発信を行っている。

森田 邦雅(もりた・くにまさ)  
特定非営利活動法人東京ダルク 施設長／ 1962 年(昭和 37 年)奈良県に生まれる。大学卒業後就職するが、仕事に行き詰まり 10 代の頃使用した経験がある有機溶剤(シンナー) を再び使用するようになる。病院への入院、逮捕等を経験し 1990 年にダルクに入所。その後プログラムを終了しダルクスタッフになり、現在、東京ダルク施設長を勤める。家族は妻と三人の子供。

メンタルケア協議会

大神 那智子(おおが・なちこ)  
メンタルケア協議会理事／千葉大学子どものこころの発達教育研究センター元特任研究員

◎特任相談員  
西森 優実子／山城 久典／高橋 美恵子／塚本 哲司

※1 日程確定後のキャンセルは原則不可です

！

レクチャービデオ

※レクチャーの動画を視聴してから研修に参加してください。※研修参加者にはユーザーアカウントとログイン用のパスワードを発行いたします。